



## 12 | 17 今年もサンタクロースがやってきた 児童館クリスマス会

クリスマスイブを1週間後にひかえ、児童館でクリスマス会が開かれ、小学生43人が参加しました。

子どもたちは、サンタクロースやトナカイ、青年協議会のお兄さんやお姉さんと一緒に、色紙の花をちりばめたりリースを作ったり、リコーダーや一輪車の出し物をしたり、体育館でゲームをしたりして楽しみました。

最後にサンタクロースからクリスマスプレゼントをもらうと、子どもたちは大満足の表情を浮かべていました。

## 12 | 6 準備も当日も安全第一 雪まつり安全祈願祭

ふるさとまつり実行委員会が、改善センターの玄関前で雪まつりの安全祈願祭を開き、笹木正文実行委員長や植田町長、自衛隊滝川駐屯地の原田司令など40人が参列しました。

笹木実行委員長は「自衛隊の皆さんが作ってくださるステージとジャンボ滑り台があれば、お客さんは集まらな」と感じています。設営に携わる皆さん、当日の参加者、そして、その後のジャンボ滑り台利用者の全員が安全であることを祈っています」と述べました。





## 12 | 3 寒さを忘れる鮮やかな花 農高クリスマス販売会

新十津川農業高校でクリスマス販売会が開催され、町内外から訪れた318人の来場者でにぎわいました。

この日は、氷点下の冷え込みとなりましたが、10時の開場を前に約200人が行列を作る盛況ぶり。会場のビニールハウスには、赤やピンクに色づいたシクラメンやポインセチア800鉢をはじめ、白菜やニンジン、もち米などが並び、来場者が次々に買い求めていました。

草花の授業を教える西野先生は「今年は天候不順や高温の日が続いて、花にとっての環境の配慮が大変でした。しかし、生徒が実習で手入れをし、こうして安定したつぼみが上がって見ごろとなりました」と話していました。

## 12 | 1 地元での消費拡大に期待

新竜商工会広域連携協議会が、年末年始の買い物を地域内で行ってもらおうと、両町内の加盟店で使用できる割増付商品券を発売しました。

1口12,000円分の商品券が、10,000円で購入できるとあって、販売会場の改善センターには、正午の販売開始を前におよそ250人が行列を作りました。

行列の先頭に並び、誰よりも先に商品券を手にした女性は「買い逃さないように、9時半から並びました」と話していました。



## 12 | 3 無火災願って、ぺったんぺったん

少年消防クラブと婦人防火クラブが、ゆめりあ多目的ホールで防火もちつきを行い、両クラブのメンバー29人のほか、消防団員など8人が参加しました。

この行事は、お餅に無火災の願いを込めてつくことで、両クラブ員の火災予防の関心を高めることを目的に開かれました。

少年消防クラブ員が、重たいきねを振るってつきあげたおもちは、婦人防火クラブ員があんこもちや雑煮にして、みんなでおいしく食べました。

